

平成24年10月 全国百貨店売上高概況

平成24年11月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,955億円余
2. 前年同月比	-2.4% (店舗数調整後/6か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 249店 (平成24年9月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,291,754㎡ (前年同月比:-1.7%)
5. 総従業員数	83,210人 (前年同月比:-5.5%)
6. 3か月移動平均値	3-5月 4.7%、4-6月 -0.3%、5-7月 -1.9%、 6-8月 -2.0%、7-9月 -1.7%、8-10月 -1.3%

[参考] 平成23年10月の売上高増減率は-0.5% (店舗数調整後)

【10月売上の特徴】

6か月連続の前年同月比マイナスであるが、休日が2日減少(前年同月比で日曜・土曜各1日減)したことを勘案すれば、ほぼ前年並みに推移したと分析できる。

10月は中旬まで全国的に気温の高い日が続いた影響で、重衣料を中心とした主力の衣料品(-3.3%)が低調に推移したほか、前述の休日減などの影響から入店客数も伸び悩んだ。月の後半からは気温低下に伴い秋冬物衣料が盛り返したほか、前月同様、改装による新ブランド効果が背景にある化粧品(+1.6%)のほか、高級時計や宝飾品等の高額商材(美・宝・貴:+0.2%)も引き続き堅調であったが、10月の商況全体を押し上げるまでには至らなかった。

その他当月の特徴的な動向としては、プロ野球チームの優勝セールで沸いた札幌地区(+1.3%)、基幹店の改装効果が続く神戸地区(+0.8%)が前年実績をクリアしたこと、年末商戦の皮切りとなるお節やクリスマスケーキの早期受注が好調に推移していること、訪日外国人は尖閣問題で中国に影響が見られるが、台湾や東南アジアが下支えする形で売上・客数共に5%弱の減少幅(売上高:-4.4%、購買客数:-3.7%)に留まったこと、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「10月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)
 - ◇ 北日本では、上旬(平年差+1.8℃/過去最高)を中心に暖かい空気に覆われ、気温が高い日が多かった。東・西日本では高気圧に覆われて晴れた日が多く、気温も高かった。
- (2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比+0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 9日(" -2日/日曜・土曜各1日減)
- (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数129店舗)
 - ①増加した:18店、②変化なし:31店、③減少した:80店
- (5) 10月歳時記(体育の日、旅行シーズン)の売上(同上/有効回答数104店舗)
 - ①増加した:11店、②変化なし:48店、③減少した:45店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数170店舗)
 - ①増加する:25店、②変化なし:87店、③減少する:14店、④不明:44店

全国百貨店 売上高速報 2012年10月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	495,596,121	100.0	-2.4 (-3.0)
10都市	323,882,715	65.4	-1.7 (-2.1)
札幌	12,644,064	2.6	1.3
仙台	7,216,958	1.5	-0.3
東京	122,648,151	24.7	-1.5 (-2.2)
横浜	28,601,017	5.8	-1.7
名古屋	30,113,731	6.1	-2.5
京都	19,719,349	4.0	-1.6
大阪	63,269,196	12.8	-2.3
神戸	13,238,034	2.7	0.8 (-3.9)
広島	11,053,403	2.2	-4.4
福岡	15,378,812	3.1	-2.4
10都市以外の地区	171,713,406	34.6	-3.6 (-4.6)
北海道	3,068,126	0.6	-0.7
東北	9,099,593	1.8	-3.9
関東	81,306,157	16.4	-4.1 (-6.1)
中部	13,305,409	2.7	-6.9
近畿	16,903,811	3.4	-1.3
中国	12,204,755	2.5	-2.5
四国	9,215,619	1.9	-4.5
九州	26,609,936	5.4	-2.3

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比 (%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	495,596,121	100.0	-2.4 (-3.0)
紳士服・洋品	39,281,705	7.9	-4.5 (-4.8)
婦人服・洋品	125,963,693	25.4	-2.6 (-3.1)
子供服・洋品	12,226,442	2.5	-5.3 (-6.8)
その他衣料品	13,722,452	2.8	-4.4 (-4.8)
衣 料 品	191,194,292	38.6	-3.3 (-3.8)
身のまわり品	60,850,055	12.3	-2.3 (-3.5)
化粧品	27,024,939	5.5	1.6 (1.1)
美術・宝飾・貴金属	22,585,326	4.6	0.2 (-0.3)
その他雑貨	18,961,403	3.8	-6.5 (-6.7)
雑 貨	68,571,668	13.8	-1.2 (-1.6)
家具	6,106,709	1.2	-4.4 (-4.8)
家電	1,543,612	0.3	7.8 (7.8)
その他家庭用品	16,259,091	3.3	-2.6 (-3.3)
家 庭 用 品	23,909,412	4.8	-2.4 (-3.0)
生鮮食品	26,037,930	5.3	-4.1 (-4.7)
菓子	29,173,007	5.9	-1.1 (-1.7)
惣菜	30,107,530	6.1	-1.2 (-1.7)
その他食料品	37,173,578	7.5	-0.1 (-0.9)
食 料 品	122,492,045	24.7	-1.5 (-2.1)
食堂 喫茶	13,854,596	2.8	-2.0 (-2.4)
サ ー ビ ス	5,757,102	1.2	0.6 (-0.4)
そ の 他	8,966,951	1.8	-5.5 (-6.4)
商 品 券	11,793,569	2.4	-8.6 (-9.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | | |
|------------------|-------|--------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -1.7% | (店舗数調整後／2か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.6% | (" / 7か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-1.7	-1.1	2か月ぶりマイナス
札幌	1.3	0.0	7か月ぶりプラス
仙台	-0.3	0.0	6か月連続マイナス
東京	-1.5	-0.4	3か月ぶりマイナス
横浜	-1.7	-0.1	6か月連続マイナス
名古屋	-2.5	-0.2	3か月ぶりマイナス
京都	-1.6	-0.1	2か月ぶりマイナス
大阪	-2.3	-0.3	7か月連続マイナス
神戸	0.8	0.0	3か月連続プラス
広島	-4.4	-0.1	7か月連続マイナス
福岡	-2.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
10都市以外の地区	-3.6	-1.3	7か月連続マイナス
北海道	-0.7	0.0	7か月連続マイナス*
東北	-3.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-4.1	-0.7	7か月連続マイナス
中部	-6.9	-0.2	7か月連続マイナス
近畿	-1.3	0.0	7か月連続マイナス
中国	-2.5	-0.1	2か月ぶりマイナス*
四国	-4.5	-0.1	2か月ぶりマイナス
九州	-2.3	-0.1	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、7月以来3か月ぶりに全品目がマイナスとなった。また、化粧品が3か月連続、美術・宝飾・貴金属が2か月連続のプラス、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-2.4	-	6か月連続マイナス
紳士服・洋品	-4.5	-0.4	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.6	-0.7	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-5.3	-0.1	7か月連続マイナス
その他衣料品	-4.4	-0.1	7か月連続マイナス
衣料品	-3.3	-1.3	2か月連続マイナス
身のまわり品	-2.3	-0.3	2か月ぶりマイナス
化粧品	1.6	0.1	3か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	0.2	0.0	2か月連続プラス*
その他雑貨	-6.5	-0.3	7か月連続マイナス*
雑貨	-1.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
家具	-4.4	-0.1	2か月ぶりマイナス
家電	7.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	-2.6	-0.1	7か月連続マイナス
家庭用品	-2.4	-0.1	6か月連続マイナス
生鮮食品	-4.1	-0.2	7か月連続マイナス*
菓子	-1.1	-0.1	3か月ぶりマイナス*
惣菜	-1.2	-0.1	2か月連続マイナス*
その他食料品	-0.1	0.0	2か月ぶりマイナス*
食料品	-1.5	-0.4	7か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.0	-0.1	3か月ぶりマイナス
サービス	0.6	0.0	5か月連続プラス
その他	-5.5	-0.1	6か月連続マイナス
商品券	-8.6	-0.2	20か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>